

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 6月 10日

仕事の内容	里正日誌刊行事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 村上 敏彰

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 市民文化の振興

(総合計画書 41 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業 7	文化財保護・保存事業費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	里正日誌活字本の刊行(各年度1冊づつ)					→平成27年度は第12巻、1000部を発行した。			
	② ①をどのような状態にしたいですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	平成34年までに全13巻を刊行する。					→全13巻を刊行する。			
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	① 編集校訂委員へ当年刊行する範囲について担当作業分の振り分け、資料配布。 ② 解読員へ次年度刊行する範囲について担当作業分の振り分け、資料配布。 ③ 印刷製本のための契約 ④ 校正作業取りまとめ・確認作業。					→作業回数(活動指標参考)			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	冊数	8巻 1000部	11巻1000部	12巻1000部		
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%			100	100	100
		目標値設定の考え方		平成28年度は13巻、29年度は1巻を刊行する。				
活動指標	③の数値	回	①1回 ②・③1回 ④3回	①・②・③1回 ④3回	①・②・③1回 ④3回			

3 経費	事業費		円	1,842,500	2,437,992	3,281,960	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,842,500	2,437,992	3,281,960	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	4,170,000	4,149,000	4,116,500		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	6,012,500	6,586,992	7,398,460		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	東大和市の貴重な郷土資料である里正日誌については、文化財の保護と活用の観点から平成4年から解読、編集校訂、製本作業が行われてきた。平成7年までに第7・9・10巻を刊行したのち、財政状況の悪化により解読等に係る委託料や製本・刊行の予算が組めなくなったことから作業が休止したままとなっていた。平成25年に作業を再開し、郷土資料の活用を図る。	
環境変化	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	監修、編集校訂をお願いしていた先生や解読作業者が、中断していた17年の間に亡くなられたり高齢となっているため、平成25年度からは新たな先生方に就任を依頼した。また、26年度からは、編集校訂・刊行作業と並行して、次年度以降に刊行する部分の解読作業も開始した。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	

仕 事 の 内 容	里正日誌刊行事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 村上 敏彰

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組んだ	取組手法 解読作業(書き下し作業)を市内外の市民自主グループに依頼し、実施した 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	読み下し資料原稿用紙に手書きで書かれた状態のため、校訂と原稿の校正で2重に確認が必要となっている。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) データ入力を行う。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
	入力する文字や割り付けが特殊なため、対策の検討が必要。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は削減する。